



## 2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月30日

上場会社名 アイカ工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4206 URL <http://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 小野 勇治

問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 森 要輔

TEL 052-533-3135

四半期報告書提出予定日 2019年2月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	140,703	17.9	15,221	5.2	15,699	4.5	9,458	5.4
2018年3月期第3四半期	119,347	8.4	14,474	6.8	15,015	8.5	8,971	6.3

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 6,580百万円 (46.4%) 2018年3月期第3四半期 12,271百万円 (96.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	144.86	144.80
2018年3月期第3四半期	137.42	137.34

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	186,071	132,303	66.0
2018年3月期	189,626	132,616	64.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 122,723百万円 2018年3月期 122,746百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		42.00		50.00	92.00
2019年3月期		47.00			
2019年3月期(予想)				56.00	103.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	13.0	20,800	8.9	21,000	7.1	13,400	11.7	205.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	67,590,664 株	2018年3月期	67,590,664 株
期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,295,825 株	2018年3月期	2,304,868 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	65,291,830 株	2018年3月期3Q	65,286,448 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、相次ぐ自然災害の影響により一時的に足踏み状態となりましたが、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が持続しています。また、アジア・オセアニア地域の経済は、全体としては個人消費を中心とした内需を牽引役に堅調に推移しましたが、中国では底堅さの一部に弱い動きも見られ、通商問題の動向及び影響、過剰債務問題を含む金融市場の動向等に留意が必要な状況が続きました。

国内建設市場においては、賃貸住宅の供給過剰感から借家の着工が一服し、住宅着工は減少しました。非住宅関連は、企業の設備投資やインバウンド効果による工場、ホテルの新築・改修需要は増加したものの、医療福祉施設や商業施設、オフィス等は落ち込み、着工面積は減少しました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「C&C2000」の方針に基づき、社会課題の解決に貢献する商品群の拡充、次世代を担う注力分野の育成、アジア・オセアニア地域における接着剤やメラミン化粧板の販売強化などを推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高140,703百万円(前年同期比17.9%増)、営業利益15,221百万円(同5.2%増)、経常利益15,699百万円(同4.5%増)となりました。また、「平成30年7月豪雨」による広島工場浸水被害に関わる一時的な特別損失400百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は、9,458百万円(同5.4%増)となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

#### (化成品セグメント)

接着剤系商品は、国内においては集材材用接着剤が低迷しましたが、施工用接着剤や産業用フェノール樹脂が好調に推移し、売上を伸ばすことが出来ました。一方、海外においてはアジア・オセアニア地域における接着剤・産業用樹脂の需要を取り込むことができたことに加えて、第2四半期連結会計期間より連結業績に組み入れたタイ・ケミカル・コーポレーション社も寄与し、売上を伸ばすことが出来ました。

建設樹脂系商品は、新築住宅向けの外装・内装仕上塗材「ジョリパット」や建築・土木用の補修・補強材が低迷したものの、高耐久塗床材「アイカピュール」を中心とした生産施設向けの塗床材が好調に推移し、売上を伸ばすことが出来ました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、有機微粒子やアクリル・コンパウンド製品が前年を上回り、既存のUV樹脂やホットメルトが前年を下回った一方、第1四半期連結会計期間より連結業績に組み入れたエバモア・ケミカル・インダストリー社が寄与し、売上を伸ばすことが出来ました。

このような結果、売上高は80,864百万円(前年同期比32.9%増)となりました。営業利益(配賦不能営業費用控除前)は、原材料価格高騰の影響をうけたものの、アイカ・アジア・パシフィック・ホールディング社ののれん償却減の影響もあり、5,734百万円(前年同期比10.1%増)となりました。

#### (建装建材セグメント)

メラミン化粧板は、国内においては汎用の単色化粧板が好調であったことに加えて、高い意匠性と指紋などの汚れが目立ちにくい特性をもつメラミン化粧板「セルサス」や、不燃性や耐スクラッチ性などの機能性を付与した高付加価値品がホテルや商業施設の新築・改修需要を取り込み、売上を伸ばすことが出来ました。また、海外においては、インドネシアやシンガポール、ベトナムを中心に売上を伸ばすことが出来ました。

ボード・フィルム類は、加工品を拡充した粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」関連商品は好調でしたが、汎用的なポリエステル化粧合板が苦戦し、前年を下回りました。

メラミン不燃化粧材「セラル」は、学校や公共施設の新築・改修需要を獲得するとともに、駅や医療施設、オフィスなどのトイレでは「セラル消臭タイプ」の採用が拡大し、売上を伸ばすことが出来ました。

不燃建材は、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト・カラー」が、スポーツ施設や工場・倉庫、教育施設の需要を取り込み、多機能建材「モイス」が、市場流通量が不足する耐力材用途をはじめ、住宅から公共施設まで幅広い内装材用途で採用されるなど、アイカテック建材株式会社とのシナジー商品を中心に売上を伸ばすことが出来ました。

カウンター・ポストフォーム商品は、旺盛な保育施設の新築・改修需要を取り込んだ人工大理石「コーリアン」製の幼児用手洗いカウンターとそれに付随する収納キャビネットや、高価格帯のキッチンカウンターの需要を取り込んだ高級人造石「フィオレストーン」が好調で、売上を伸ばすことが出来ました。

建具・インテリア建材は、メラミン化粧板の特性を活かした「メラフュージョンシリーズ」は好調でしたが、持家向けの建具シリーズや医療・介護施設向け機能戸「U. D. (ユニバーサルデザイン) コンフォートシリーズ」が苦戦し、前年を下回りました。

このような結果、売上高は59,838百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益(配賦不能営業費用控除前)は11,457百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は127,007百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,192百万円減少いたしました。これは主に商品及び製品が1,670百万円、原材料及び貯蔵品が1,121百万円増加したことに対し、現金及び預金が6,294百万円減少したことによるものであります。固定資産は59,064百万円となり、前連結会計年度末に比べ362百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1,153百万円増加したことに対し、投資その他の資産が1,624百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、186,071百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,555百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は46,528百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,051百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が2,819百万円減少したことによるものであります。固定負債は7,239百万円となり、前連結会計年度末に比べ191百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が257百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、53,768百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,242百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は132,303百万円となり、前連結会計年度末に比べ312百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が9,458百万円、剰余金の配当が6,333百万円となったこと並びにその他有価証券評価差額金が1,318百万円、為替換算調整勘定が1,832百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.0%（前連結会計年度末は64.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2018年4月26日公表の業績予想に変更ありません。今後の景気の動向によって通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

なお、「平成30年7月豪雨」による広島工場浸水被害に関わる被害及び除去等の費用を当第3四半期連結累計期間の特別損失として計上しております。被害につきましては、損害保険を付保しており、特別利益に計上する予定です。

上記、特別利益及び特別損失の計上に伴う2019年3月期通期業績への影響は軽微な見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,521	43,227
受取手形及び売掛金	59,259	59,371
商品及び製品	8,550	10,220
仕掛品	1,046	1,104
原材料及び貯蔵品	6,404	7,525
その他	5,608	5,973
貸倒引当金	△189	△415
流動資産合計	130,200	127,007
固定資産		
有形固定資産	38,464	39,617
無形固定資産		
のれん	168	347
その他	2,686	2,615
無形固定資産合計	2,855	2,963
投資その他の資産		
その他	18,125	16,495
貸倒引当金	△17	△12
投資その他の資産合計	18,107	16,483
固定資産合計	59,426	59,064
資産合計	189,626	186,071
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,127	27,077
電子記録債務	6,058	6,390
短期借入金	4,052	4,499
未払法人税等	3,492	672
賞与引当金	1,763	1,092
その他	8,086	6,795
流動負債合計	49,579	46,528
固定負債		
長期借入金	777	520
退職給付に係る負債	1,406	1,427
その他	5,246	5,291
固定負債合計	7,430	7,239
負債合計	57,010	53,768
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	13,279	13,280
利益剰余金	93,756	96,881
自己株式	△2,011	△2,005
株主資本合計	114,917	118,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,402	4,084
繰延ヘッジ損益	△4	△8
為替換算調整勘定	2,187	355
退職給付に係る調整累計額	243	243
その他の包括利益累計額合計	7,828	4,674
新株予約権	36	27
非支配株主持分	9,833	9,552
純資産合計	132,616	132,303
負債純資産合計	189,626	186,071

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	119,347	140,703
売上原価	84,696	104,432
売上総利益	34,650	36,270
販売費及び一般管理費	20,176	21,048
営業利益	14,474	15,221
営業外収益		
受取利息	120	150
受取配当金	335	347
その他	472	547
営業外収益合計	928	1,044
営業外費用		
支払利息	44	89
売上割引	120	125
その他	221	352
営業外費用合計	386	567
経常利益	15,015	15,699
特別損失		
災害による損失	-	400
特別損失合計	-	400
税金等調整前四半期純利益	15,015	15,299
法人税、住民税及び事業税	4,530	4,275
法人税等調整額	547	694
法人税等合計	5,077	4,970
四半期純利益	9,938	10,328
非支配株主に帰属する四半期純利益	966	870
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,971	9,458

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	9,938	10,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,080	△1,318
繰延ヘッジ損益	6	△4
為替換算調整勘定	192	△2,373
退職給付に係る調整額	31	0
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△52
その他の包括利益合計	2,333	△3,748
四半期包括利益	12,271	6,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,323	6,304
非支配株主に係る四半期包括利益	947	275



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	60,846	58,500	119,347	—	119,347
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,918	—	1,918	△1,918	—
計	62,764	58,500	121,265	△1,918	119,347
セグメント利益	5,211	11,174	16,385	△1,911	14,474

(注)1 セグメント利益の調整額△1,911百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,912百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	80,864	59,838	140,703	—	140,703
セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,108	—	2,108	△2,108	—
計	82,973	59,838	142,812	△2,108	140,703
セグメント利益	5,734	11,457	17,192	△1,970	15,221

(注)1 セグメント利益の調整額△1,970百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,971百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門(人事、総務、経理部門等)に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

# 2019年3月期第3四半期 決算短信補足資料

挑戦と創造

2019年1月30日

**アイカ工業株式会社**

# 1. 2019年3月期第3四半期 連結決算の概要

	2018/3期 第3四半期		2019/3期 第3四半期		
	実績	利益率	実績	利益率	伸率
売上高	119,347 百万円		140,703 百万円		17.9%
営業利益	14,474 百万円	12.1%	15,221 百万円	10.8%	5.2%
経常利益	15,015 百万円	12.6%	15,699 百万円	11.2%	4.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,971 百万円	7.5%	9,458 百万円	6.7%	5.4%
一株当たり四半期純利益	137.42 円	—	144.86 円	—	5.4%

**売上・営業利益・経常利益** : 9期連続 増収・増益

**四半期純利益※** : 3期連続 増益

**売上** : 6期連続 過去最高を更新

**営業利益・経常利益** : 7期連続 過去最高を更新

**四半期純利益※** : 3期連続 過去最高を更新

## 2. 2019年3月期第3四半期 セグメント別業績

[単位:百万円]

	売上高			営業利益			
	2018/3期 第3四半期	2019/3期 第3四半期	差異	2018/3期 第3四半期	2019/3期 第3四半期	差異	
化成品	60,846	80,864	20,017	5,211	5,734	523	金額
				8.6%	7.1%	▲ 1.5%	利益率
建装建材	58,500	59,838	1,337	11,174	11,457	282	金額
				19.1%	19.1%	0.0%	利益率
(配賦不能営業費用→)				▲ 1,911	▲ 1,970	▲ 59	金額
合計	119,347	140,703	21,355	14,474	15,221	747	金額
				12.1%	10.8%	▲ 1.3%	利益率

### 3. 化成品セグメント 商品群別売上実績

	2018／3期		2019／3期			
	第3Q	通期	第3Q実績	伸率	通期計画	進捗率
接着剤	392.3億円	539.7億円	483.3億円	23.2%	621.0億円	77.8%
AAP	293.2億円	405.6億円	382.0億円	30.3%	488.0億円	78.3%
建設樹脂	71.2億円	95.2億円	71.9億円	1.0%	94.3億円	76.3%
機能材料	73.7億円	98.0億円	173.3億円	135.0%	219.0億円	79.2%
その他	71.0億円	96.1億円	79.9億円	12.5%	97.7億円	81.8%
合計	608.4億円	829.1億円	808.6億円	32.9%	1,032.0億円	78.4%

※AAP:アイカ・アジア・パシフィック

## 4. 建装建材セグメント 商品群別売上実績

	2018／3期		2019／3期			
	第3Q	通期	第3Q実績	伸率	通期計画	進捗率
メラミン化粧板	118.6億円	166.3億円	123.9億円	4.5%	171.5億円	72.3%
ボード等 フィルム	99.7億円	143.4億円	98.1億円	▲1.6%	143.0億円	68.7%
セラール	140.0億円	191.8億円	143.4億円	2.4%	192.0億円	74.7%
不燃建材	68.7億円	92.5億円	72.1億円	4.9%	97.5億円	74.0%
カウンター ポストフォーム	115.5億円	156.3億円	121.5億円	5.2%	159.0億円	76.4%
建具材 インテリア	42.2億円	57.6億円	39.1億円	▲7.4%	55.0億円	71.2%
合計	585.0億円	808.1億円	598.3億円	2.3%	818.0億円	73.2%



# C&C2000

## CHALLENGE & CREATION

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみ全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。